

第3学年2組 国語科 学習構想案

日時 令和7年1月24日(金)第4校時
 場所 3年2組教室
 指導者 指導教諭 平野 理恵

1 単元構想

単元名	書き表し方をくふうして、物語を書こう「たから島のぼうけん」(光村図書三年下「あおぞら」P111~115)	
単元の目標	(1)様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。〔知識及び技能〕(1)オ (2)書き表し方を工夫することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)ウ (3)進んで語句の量を増やし、文章の中で使い、学習の見通しをもって粘り強く物語を創作しようとする。〔学びに向かう力、人間性等〕	
単元終了時の児童の姿(単元のゴールの姿・期待される姿)		
身の回りの出来事を伝えるときなどにも、詳しく伝わるように言葉を言い換えたり、加えたりなどして、言葉の使い方を工夫しようとする児童。		
本単元で働かせる見方・考え方		
相手や目的を意識して、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。 相手や目的を意識して、構成や書き表し方、文末表現などに着目し、様子がくわしく伝わるように、言葉を言い換えたり加えたりすること。 登場人物の気持ちや性格を表す語に着目し、会話や行動の書き方を考え、言葉を選んで文章の中で使うこと。		
本単元で特に育成を目指す学び方のスキル		
★1「学習の見通し」		★2「コミュニケーション」
グーグルクラスルーム上に示された単元計画や1単位時間の流れを確認しながら、見通しをもって粘り強く物語づくりに取り組もうとする。		個の追究と交流を行きつ戻りつして、より納得できる考えをもちようとする。

指導計画(8時間取扱い 本時2/8時間)	
次	主な学習活動
1	<ul style="list-style-type: none"> ・「問いをもとう」「もくひょう」を基に単元のめあてを設定し、学習計画を立てる。 ・人物を設定する。【思・判・表】 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 単元のめあて 書き表し方をくふうして、ぼうけん物語を書こう。 </div>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・「たから島の地図」を見て想像を広げ、物語の構想(出来事と解決方法)を練る。【思・判・表 本時】 ・物語の組み立てを考える。(地図の入手方法、その後)【思・判・表】 ・書き表し方を工夫して、物語の下書きを書く。(2時間)【思・判・表】 ・下書きを読み返して、様子が伝わるように修正し、物語を完成させる。【知・技】
3	<ul style="list-style-type: none"> ・でき上がった物語を読み合い、感想を伝え合う。【思・判・表】 ・単元の学習を振り返る。

2 児童の学びの実態と教師の手立て

【学び方のスキル】

「学習の見通し」のスキルについては、グーグルクラスルーム上に単元計画や単元のめあて、1単位時間の流れを示すことで、見通しをもって学習を進められるようになった。授業開始時に声を出して読み、全員が流れを把握できるようにしている。

「めあて(課題)設定」のスキルについては、単元計画から本時のめあて(課題)を設定したり、例示されたものから選択したりできるようになった。選択の場合には、全体で共通のめあてを確認後、「〇〇まで進める」「カードを〇枚完成させる」などの到達目標や、「困ったときには、友達に相談する」のように学習の進め方に関するめあてを例示している。

「学習の進め方」のスキルのうち、学習形態の選択(個か協働か)については、進んで動ける児童と自分から動くことが難しい児童がいる。そこで、困ったときにはいつでも友達に相談したり、クラウド上で友達の考えを確認したりできるようにしている。クラウド上で参考となる考えを見つけたらコメントを残すなどして、参考にすることを相手に伝えるようにしている。また、自分の考えと比べる時の視点として「共感(似ている・同じ、新しい気付き)、疑問」を提示している。

「振り返り」のスキルについては、具体的に書けない児童、「分かったこと」の記述のみに留まっている児童がいる。そこで、「分かったこと」「どのようにして学んだか」「友達に学んだこと」「次に生かしたいこと」という視点を提示し、文末表現を示したり視点に沿った振り返りを紹介したりして、質が高まるようにしている。

「コミュニケーション」のスキルについては、自分の考えを一方向的に話す児童、聞くだけになっている児童がいる。そこで、意見を言うのが得意と感じている児童に対しては、相手が理解しているかを確認しながら話したり、教科書等を指し示しながら話したりするように指導している。聞く側に対しては、わからないことは質問するなどして、大事なことを落とさないように聞く力が高まるようにしている。

【見方・考え方】

見方・考え方については、課題解決において「言葉による見方・考え方」を無意識に働かせていても、それを自分の言葉で説明できる児童は少ない。また課題解決の結果や言語活動の活性化に意識が向き、次に同様の課題と出合ったときに解決する力をつけるにまで至っていない。これは、自身の指導の課題ともいえる。

そこで、全員が「言葉による見方・考え方」を働かせて課題解決に向かえるように、単元の導入で前単元での学びを振り返ったり、授業の初めに対象をどんな視点で見(見方)、どのように考えていくのか(考え方)を確認したりして、見方・考え方の見通しをもてるようにしている。また、単元の最後には、教科書に示された「ふりかえろう」の視点に沿って学びを振り返り、学んだことを一般化できるようにしている。「見方・考え方」の具体については、小学校学習指導要領解説国語編や教科書の「言葉に着目しよう」を参考にして設定したり、各領域ごとの代表的な見方(「書くこと」においては、「目的、相手、場・状況、方法、評価」「モデル文」等)を基に設定したりしている。この学習で「何ができるようになるか」という発想にたち、指導を行ってみたい。

3 本時の学習

(1) 本時の目標と学び方のスキルの具体

本時の目標	地図から具体的に想像を広げたり、互いの考えを交流したりすることを通して、物語の構想（出来事とその解決）を練り、カードに書き出すことができる。	
	本時における、児童の学び方のスキルの具体	
	★1「学習の見通し」	★2「学習の進め方」「コミュニケーション」
	<ul style="list-style-type: none"> 単元の学習計画や本時の流れを確認することで、見通しをもって活動に取り組んでいる。 見方・考え方を共有することで、何についてどのように考えるかの見通しをもって活動に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人のめあてを設定することで、学び方（個か協働か、時間配分、ツール）を選択しながら、粘り強く活動に取り組んでいる。 対話したりクラウド上で他者の発想を確認したりして、自分の発想を膨らませている。
	本時において働かせる、児童の見方・考え方の具体	
	物語の構想に必要なことをはっきりさせ、目的やこれまでの読書経験等に注目して、出来事とその解決方法を決め、カードに書き出している。	

(2) 本時の展開

過程	時間目安	児童の学習活動 (◇予想される児童の発言や考え・発問 指示 説明 ◎主発問 ○深める発問 ★児童の学び方のスキル)	指導上の留意事項 (★スキル発揮に繋がる教師の支援、 ○教科の特質に応じた支援、□その他の支援)	テレビ画面
導入 課題設定	7分	1 学習計画から、本時のめあてを確認する。★1 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> そうぞうした物語のないようを書き出そう。 </div> 2 見通しをもつ。★1 <ul style="list-style-type: none"> 学習の流れを確認します。(活動の見通し) まずは、チャットで生き物や物、場所の特徴を出し合います。(見方・考え方の見通し①) ◇大蛇・・・体が長い。巻きつく。舌が長いなど。 ◇解決方法を考えるときは、これまでに学習した物語の出来事と解決方法をヒントにすることができます。(見方・考え方の見通し②) ◇「大きなかぶ」・・・協力する ◇「スイミー」・・・協力する、自分らしさを生かす ◇「ためきの糸車」・・・助け合う ◇「まいごのかぎ」・・・道具を使う ◇「三年とうげ」・・・ちえをはたらかせる ・「四枚の絵を使って」の学習では、鳥がぼうしを取っただけでなく、鳥が返してくれたと考えた人もいました。 	<ul style="list-style-type: none"> ★Googleクラスルーム上に単元計画を示し、いつでも確認できるようにしておく。 ★「カードに出来事とその解決方法を書き出す」という到達目標にすることで、児童が目指すものをはっきりさせる。 ★Googleクラスルーム上に本時の流れを示す。 ○地図上の生物や物、場所の特徴等を出し合うことが、出来事・事件、解決方法につながることを確認する。 ○既習教材をもとに解決方法にはどのようなものがあるかを確認する。 ○暴力的な表現になったり、倒すが続いたりしないように気を付けることを確認する。 	単元計画 本時の流れ スライド(どんな生き物?) 既習教材
		展開 情報収集・整理分析	28分	3 物語の構想を練り、カードに書き出す。★2 <ul style="list-style-type: none"> (1) 地図上にある生き物、もの、場所の特徴を出し合う。 ◇火の鳥・・・炎をまく。飛べる。 ◇火山・・・噴火する。熱い。 (2) 出来事とその解決方法を書き出す。 ◇協力の大切さが伝わる物語にしたいから、二人で力を合わせて乗り越えるようにしよう。 ◇登場人物の○○は、勇気のある女の子だから、○○が怖がらず相手に向かっていくようにしよう。 ◇○○さんは、どんな出来事にしたのかな。見て(聞いて)、ヒントをもらおう。
終末 まとめ・表現	10分	4 物語の構想について、互いの考えを交流し合う。★2 5 本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。★1 <ul style="list-style-type: none"> ◇協力するにはどうしたらよいかに気を付けたら、解決方法を決めることができた。 ◇○○さんの、・・・という考えを見て、自分の出来事を決めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> □物語の構想をペアで紹介し合い、感想を伝える場を設定することで、達成感を味わえるようにする。 □ふり返りの視点(分かったこと、どのように学んだか、友達に学んだこと、次に生かしたいこと)を提示する。 □視点に沿った振り返りや全体に広げたい学びの姿を紹介し、よさを共有する。 □次時の活動を確認し、見通しをもてるようにする。 	振り返りの視点

